

フォレンジックサービス

2024年 8月





不正の検知、経済・金融犯罪への対応および危機管理をご支援します。

今日急速に変化する経済ならびにデジタル環境において、強固な不正防止機能を備えることが極めて重要になっています。PwCは、不正リスクの予防、検知、対応を通して企業の資産、評判および事業価値を保護し、不正対応プログラムを強化することで、企業が主要なステークホルダーからの信頼を維持・獲得することを強力に支援します。

タイで事業を展開する日本企業

- ・ タイは東南アジア地域における製造業の中心拠点です。
- ・ 組織が直面する課題の一つとして、現地の経営陣や従業員が起こした不適切な事案や不正行為に対してどのように取り組むかが重要とされています。
- ・ 現地の経営者は、日本企業は誠実性、法律・規則および本社からの指示の遵守に重点を置いていると考えています。

日本人経営者は不正の手口を見抜くことができない

本社は、日本国外で事業を展開している子会社から学ぶべきである

現地のビジネス環境に合わせて管理体制の構築をする必要がある

- 製品仕様の不正操作／架空見積り
- 特定の業者に有利な入札
- 調達関連取引の分割

1

購買不正

- 棚卸資産の横領（例：1,000トン以上の原材料が紛失）
- 完成製品の過少計上

2

資産の横領

- 政府の文書偽造
- ペーパー・カンパニー
- 廃棄品の横領、廃棄品売却価格の操作

3

廃棄品の横領

- 納入業者が現従業員または元従業員
- 過剰請求とキックバックの受取り
- 高価な贈り物や接待（例：車、ウイスキーの木箱、高価なペンなど）

4

利益相反と汚職

- 架空販売
- キックバックと引き換えの特別割引

5

販売不正

- 時間外労働や給与の操作
- 幽霊社員／労働者

6

人的リソース

- 不適切な資産評価（減価償却費などの捏造）
- 商品または役務の受入を伴わない支払い

7

会計記録の操作

- 請求書や領収書の偽造
- 会社の小切手の署名を偽造
- 虚偽／過大な経費請求

8

虚偽の主張

- 企業の知的財産を直接の競合他社へ開示






9

機密情報の窃盗

タイの一般的な不正スキーム



不正リスクへの備えは万全ですか？

-  想定される損失規模として年間売上高の5%を不正のリスクにさらすことができますか？
-  不正リスク管理に関する責任者は選出されていますか？
-  不正行為や汚職を対処するための戦略、アプローチ、技術、ツールは導入されていますか？
-  組織で何か不正の兆候を検出したことはありますか？
-  事業活動の最中、望ましくない事案が発生した場合の対応プロセスは定まっていますか？

包括的なソリューションを提供するフォレンジックサービス



期待される効果

コスト削減

企業価値の
保全と創造

業務効率化

意思決定の
サポート

ステーク
ホルダーの
信頼向上

お問い合わせ先



Phansak Sethsathira
Partner
phansak.s.sethsathira@pwc.com



棚網 啓 / Hiraku Tanaami
Manager
hiraku.t.tanaami@pwc.com